

# 森の忍者をさがそう

## ■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>・観察のポイントを絞ることで、いろいろな場所に虫がいることに気づく。</li><li>・虫を忍者に見立てることで、虫の能力を知るきっかけづくりをする。</li><li>・虫が苦手な子どもに、虫に親しみを持ってもらう。</li></ul>		
キーワード	いきもの、身近な自然		
対象	幼児～小学2年		
時間	30分～40分	実施場所	屋外 (移動教室や遠足など)
使用するもの	忍者の巻物(極意書)、観察道具、筆記用具		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 導入 「忍者」ということばをキーワードにして、巻物(極意書)という宝物に子どもたちに関心を向ける。積極的に目の前にある自然環境に目を向ける。</li><li>2. 活動 「土もぐりの術」「葉隠れの術」「隠れ蓑の術」「雲隠れの術」という言葉でヒントを与えて、隠れている小さな生き物を見つける。</li><li>3. まとめ 参加者に感想や意見を聞き、小さな生物の持っている能力について再確認する。</li></ol> <p>※本プログラムの後に「校庭の落ち葉で腐葉土をつくろう」を実施するとより効果的です。</p>		

## ■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>『この森（池・校庭）には、忍者が隠れています。きょうは皆さんと森の忍者に会いに行こうと思います。ここに秘密の忍者の巻物を持ってきました。みなさんが忍者を見つけられれば、この巻物を貰うことができます。最後まで見つけることができるでしょうか？みんなで頑張ってください』</p> <p>などと、忍者をキーワードにして楽しく期待感を盛り上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見慣れた自然の中に普段は気づかなかった「忍者」を探すことに対して、期待感を持たせるように声や身振りで演出し、期待感を持たせる。</li> </ul>
15-20分	<p>&lt;活動&gt;</p> <p>子どもを5人くらいほどのグループに分け、グループごとに指導員をつける。</p> <p>①土もぐりの術『最初の忍者は土の中に隠れています。土の中に隠れている生き物を見つけてください』</p> <p>*ミミズ・アリ・幼虫など、土の中に隠れている生き物をみんなで探し、どんなふうに土にもぐったのか、土の中で何をしていたのかなどを考えたり観察したりする。</p> <p>*小さな生き物が、土の掘る・土の中で暮らすなどのすごい力があることに気づいてもらう言葉かけをする。</p> <p>『土の中にすごい忍者がいましたね。次は…』探す場所を指定し、同様に探す。何をしているのか、どんな様子かなどをみんなで考えたり観察したりする。</p> <p>*「忍者の姿を忘れないように、似顔絵を書いておきましょう」と言って、ワークシートを配っておく。（あとで極意書に貼れるように、紙質はあまり厚くないものにする。）</p> <p>②葉隠れの術 葉の裏表や、葉を食べている生き物などを探す。</p> <p>③隠れ蓑の術 木の幹などにカモフラージュして隠れている生き物を探す。</p> <p>④雲隠れの術 いろいろな場所にいるクモを探す。など。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか自発的に見つけることができない子どもに、ヒントを与えて見つけやすくする。（たとえば、石や木の枝をひっくり返して、裏側に隠れている小さな虫を発見できるように促す）</li> <li>・見つけた生物の能力に関心を向け、これまで気づかなかった身近な自然に関心を持たせる。</li> <li>・生活環境について説明し、見つけた生き物は観察するだけで元の場所に戻す。生物たちの生活を乱してはいけないことを理解させる。</li> <li>・1回に何種類もの忍者を探すのではなく、1回にひとつの忍者探しを試みて、余裕があれば次の忍者探しに移る。</li> </ul>

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>①『みなさん、きょうは森の忍者に会えましたか？土の中の生き物を見つけられた人はいましたか？』</p> <p>*参加者の感想や意見を聞く。なるべく極意書に沿って振り返り、それぞれの生き物の素晴らしい能力を確認する。</p> <p>②『それでは、今から巻物をお渡ししたいと思います。その巻 土もぐりの術、その式葉隠れの術…』などと少し重々しい感じで演出をしながら読みあげてグループごとに極意書を手渡す。</p> <p>③「極意書と一緒に似顔絵を貼っておきましょう」とグループごとに極意書を仕上げる。</p> <p>④出来上がった極意書は、教室などに掲示する。</p>	<p>・今後も身近な自然に興味を持つように、本日の発見を印象付ける。</p>

## ■使用するもの

物品名	数量	備考
忍者の巻物（極意書）	班に1本	
ワークシート	各自1枚	
画板・筆記用具	各自1セット	探検バッグ（小学校）でもよい
蓋付きアクリル瓶	適宜	見つけた虫を観察する場合
虫めがね	適宜	//
双眼実体顕微鏡	適宜	//

## ■実施にあたって留意する点

- ハチや蚊などの虫がいる場所に注意する。
- 状況は天候に左右されることが多いので、直前に下見をしておく。乾燥が続いても、雨が降り続いても、観察には難しい。その場合、適切な忍者の選択が重要なポイントになる。
- 活動する場所により、アクティビティの応用ができる。

水もぐりの術（カエルなど）

水滑りの術（アメンボ・水グモなど）

草とびの術（バッタなど）

変身の術（セミの抜け殻）

穴あけの術（落ち葉の穴）

など、場所によって観察できそうな虫の能力に応じた術を考える。

## ■学習シート

- 「極意書」の内容例

